

土石流と”直角に”逃げましょう 熱海市土砂災害の教訓



熱海の土石流の映像見るに、ホントにこれ正しいんだなと思う

土石流からの逃げ方



土石流はスピードが速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向に対して直角に逃げるようにしましょう。



逃げる時は、流れる方向と直角に高いところへ逃げましょう。

午後1:33・2021年7月3日・Twitter for iPhone

投稿への返信(一部抜粋)

- 消防の人は流れに対し直角に逃げていましたね
とっさの判断が生死を分ける場面見せまうと納得
- 海水浴での離岸流対策に似てますね
- ▲ 雪崩の時も横に走って教わりました
- ★ ちなみに竜巻とワニに追われてる時も直角に逃げた方が良いみたいですね
- ♥ 空襲の際B29の進行方向に対して直角の方向に逃げると言われていたのと似てますね
- たしか、長崎の雲仙火砕流の時もこの方法で難を逃れた方がいましたよ!
- ★ イノシシから逃げるのと同じ。

土石流は、土砂が、長雨や集中豪雨などによって一気に下流へ押し流される現象です。山津波とも呼ばれます。

時速20km~40kmとの速度で流れ、破壊力がとても大きいので、家や田畑を押し流し大きな被害をもたらします。

土石流は急勾配の地形や、荒れている所において注意が必要です。特に、過去に土石流が発生した場所は要注意となります。

この災害を機に、山の近くに住まれている方は過去の災害にも目を向けていただきたいと思います。

また今回の災害はハザードマップ通りですので、再度住んでいる地域のハザードマップを確認していただきたいと思います。

もし、土石流が発生した場合には土石流と直角に逃げましょう!
(気象予報士・福地聡さん/7月3日・NEWSPICKS)

7月8日 NHK NEWS WEB・抜粋(文責)

静岡県熱海市の伊豆山地区で今月3日に起きた土石流で、8日、新たに2人の死亡が確認され、亡くなった人は合わせて9人になりました。今も22人の安否がわかっておらず、時折強い雨が降る中、警察や消防、自衛隊などが1700人の態勢で捜索を続けています。

一方、伊豆山地区では広範囲で断水が続く、住民の生活に大きな影響が出ています。

また、市によりますと、避難している人たちが体調不良を訴えて病院に搬送されるケースが相次いでいるということ、市では医師や保健師などのチームが巡回するなどして、生活の支援も急いでいます。

土石流が発生した午前10時半からおよそ3時間後、SNSで「土石流からの逃げ方」という画像が紹介されました。引用元は国土交通省北陸地方整備局・神通(じんづう)川水系砂防事務所が作成した「おこじよ子どもネット」。神通川のおこじよ「おこじよ」とそのファミリーが、流域の家々や住民の命を土石流災害から守る「砂防」について紹介しています。

今回の熱海土石流災害では、激しく流れ下る土石流の映像が記憶に新しいかと思われませんが、その映像の中に「流れに対して直角方向に逃げて助かった消防士らしき人」が映っていたとのこと、おこじよ子どもネットの画像とともに「直角に逃げる」という言葉が瞬く間に広がりました。

これは土石流に限らず「まっすぐな流れ、高速でこちらにむかってくるもの」からの逃げ方の基本であるらしく、「離岸流から逃れる時と同じ」「イノシシから逃げる時と同じ」など、西表島での生活に直結しそうな事例もあげられていました。遠い内地の出来事と思わず、日々の安全のためにぜひ教訓として心に留めておいていただきたいと思います。



we support!

RQ
災害教育
センター

MONTHLY

「東北に黒糖を送ろう!大作戦しんぶん」改め
復興支援『すけさきた』
かめらぼん しんぶん

「すけさきた」とは
宮城県登米市あたりの言葉で
「ボランティアに来たよ」という
意味である

JULY
11
2021

